

# 地域ふれあい サイエンスフェスタ



ヒトの耳には聞こえない超音波という音を体に当て、その反射を検知

して内臓を見る検査が超音波検査です。病院では肝臓や腎臓の検査や、

お母さんのお腹の中にいる赤ちゃんを見たりします。レントゲン検査

では骨とか肺を見たりしますが、レントゲン検査は放射線を使うので

あまりたくさん検査すると体に害があります。でも超音波検査は体に

害がありませんので、何度でも検査できます。病院では超音波検査は

お腹以外にも、心臓、乳腺、甲状腺などを見るのに広く使われていま

す。私たちが将来、診療放射線技師になって病院で働いたら、患者さ

んの超音波検査をします。この展示では、まず初めにファントムとい

う実験道具を使ってどんな風に超音波画像が見えるのかお見せします。

次にもっと精巧な人形ファントムを使って、体の中の肝臓、胆嚢、膵

臓、腎臓などの内臓が超音波検査でどんな風に見えるかを体験してい

たきます。

